

委員会では、地区内の山城跡「天ヶ城」を、国富の新たなランドマークにしようと、整備を行っています。今年の6月16日には、委員会のメンバーを中心とした地域住民約20人が、山道への階段や手すりロープなどを設置しました。それまでは、地域住民でも登ることの少なかった天ヶ城でしたが、整備後は早くも県外からの登山客が訪れています。

**歴史ある山城跡を復興
天ヶ城山道の整備登山事業**



天ヶ城を整備した地域の皆さん(上)、山道に階段などを設置(下)



活発に満ちた地域を目指して

「住んで良し、訪れて良し、心安らぐ国富の郷」をスローガンに、自然や文化、歴史を生かしたまちづくりを進める国富地区。国富の郷づくり委員会を中心に活動をしています。

**ふるさとを駆け抜ける！
国富一周ふるさと駅伝大会**



地区内を力走する子どもたち

国富小学校では、今年3月に、生徒の卒業記念企画として、初めて「国富一周ふるさと駅伝競走大会」を開催。普段走る機会のない地域で駅伝をする試みが好評でした。そこにヒントを得て、委員会では、小学校との合同による駅伝大会を企画しています。運動を通して、小学生と地区民相互の親睦を深めることを目指して、11月の開催を予定。現在は、一般の部の募集準備を進めています。

藤田良男さん(52歳・熊野)



まちづくりに携わる人に負担がかり過ぎ、疲弊しないように気をつけています。ひとりひとりの力はわずかでも、多くの人が携わること、住み良い地域が作れると思います。みんなに「行ってみよっかな」と思ってもらえる企画を考えていきたいです。



わたしたちは「災害時、支援を必要とする人たちを

**ずっと支援し続けます！
We are 災害ボランティアセンター**

小浜市災害ボランティアセンターとは

■問い合わせ 市民協働課 ☎内線 372

●災害時の活動

災害が起こったら、センター連絡会の構成団体（小浜市社会福祉協議会など）を中心に、各種団体の協力を得ながらセンターを設置・運営します。



なぜ必要なの？

大規模な災害が起こったときに、県内外から救援に駆けつけたボランティアを受け入れるためです。

●ふだんの活動

年2回の訓練をはじめ、研修会や情報交換をしています。



どこに設置されるの？

なるべく被災地に近い場所に設置します。

何をやるの？

被災地からのニーズと、ボランティアとの間を調整し、効率よく派遣する作業を行います。

災害時のセンターの活動を紹介します

社会福祉協議会
たなか つねのり
田中 恒徳 さん
(46歳・金屋)



①被災者の依頼受付



②ボランティアの受付・登録



③作業の割り当て
※できることと、必要とされているニーズをマッチング



④オリエンテーション(作業の説明)と資材・地図などの配布



⑤作業



⑥活動報告



NEWS

お初戦国浪漫フェアが開催されました



今年度のいいところ小浜づくり協働推進事業のひとつに採択された「お初戦国浪漫フェア」が、6月30日(日)に常高寺(浅間)で開催されました。市内外の女性30人が参加したお初コンテストなどが、盛大に行われました。



地区の名所・旧跡を訪れる参加者
今年11月の健康ウォークには、大勢の地区民が参加して、歩きながら熱心に写真を撮影していました。

健康ウォーク&写真コンテスト
委員会では、住民に地域の魅力を再発見してもらおうと、毎年開催されていた健康ウォークと合わせて、写真コンテストを企画。地域の名所や旧跡を

**国富の魅力を再発見
健康ウォーク&写真コンテスト**